

会 議 録

会議の名称	第24回白岡市地域公共交通会議及び 白岡市地域公共交通確保維持改善協議会合同会議
開催日	平成30年1月23日(火)
開催時間	午前10時から 11時40分 まで
開催場所	白岡市役所庁舎 4階 特別大会議室
会長の氏名	秋葉清一郎
出席者(出席委員)の氏名・出席者数	鶴岡 洋、齋藤康男、矢島静江、浅野悦子、廣田勝明(途中退席)、 畦地英樹、秋葉清一郎、中島浩之、中村輝久 9人
欠席者(欠席委員)の氏名・欠席者数	高橋直樹、明野真久、細井将司、高原 昭、佐々木 操、藤田幸也、 小川幸一、熊谷茂浩、菊谷 登、尾崎晴男、加藤裕紀 11人
説明員の職・氏名	市民生活部 部長 高澤利光 地域振興課 課長 嶋崎 徹 地域振興課 公共交通推進室 室長 大久保 栄 地域振興課 公共交通推進室 主査 内田英俊
事務局職員の職・氏名	市民生活部 部長 高澤利光 地域振興課 課長 嶋崎 徹 地域振興課 公共交通推進室 室長 大久保 栄 地域振興課 公共交通推進室 主査 内田英俊
その他会議出席者の職・氏名	なし 傍聴者なし
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 会議事項 (1) 白岡市のりあい交通の運行状況について (2) 地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価(案)について (3) 主要施設(目的地)について

	(4) その他 4 閉会
配布資料	会議次第 会議資料 1 白岡市のりあい交通事業評価用資料 2 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業） 3 目的地（主要施設）について

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p><b>1 開会</b></p> <p>高澤市民生活部長の進行により会議が開会した。</p> <p>まず、出席委員に対して、前日の降雪の影響がある中、本会議に出席されたことに感謝を述べた後に、本日の会議は出席者が定数に満たないことから成立しない旨が伝えられた。このため、本日の会議は出席委員に説明するとともに、質疑を行い、その意向を確認した上で、欠席委員から書面にて御意向を確認することで会議を成立させたい旨が併せて説明され、出席委員に了承された。</p>
秋葉会長	<p><b>2 挨拶</b></p> <p>秋葉会長から挨拶が行われた。</p>
事務局	<p><b>3 会議事項</b></p> <p><b>(1) 白岡市のりあい交通の運行状況について</b></p> <p>事務局から資料1に基づき、運行状況についての説明が行われた。</p>
秋葉会長	<p>本事項について、御意見・質問等があればお願いしたい。</p>
A委員	<p>資料2 ページ収支状況の表中3月の収入欄は2段書となっている。上段は運賃収入と推測できるが、下段の275,000円は何を意味するのか。</p>
事務局	<p>この275,000円は、市が運転免許証自主返納者に対して助成している回数乗車券の額である。この補助制度では、該当する市民に対して購入額5,000円分の回数乗車券を助成しているが、その回数乗車券は当協議会から購入することになる。事務手続の効率化の観点から年度に一回精算することとしており、その金額がこの275,000円である。人数としては、55人分である。</p>

秋葉会長	他に質問・意見はございますか。
B委員	<p>何点か質問したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者増を目指すとなると、乗り合い率を高める必要があると思うが、1台当たりの乗り合い率は把握しているのか。</li> <li>・1便の開始時間は、8時30分であるが、高校生・大学生からの通学時に利用したいという要望は寄せられていないのか。</li> <li>・予約を断っている件数はどの程度か。</li> <li>・6ページを見ると、火、水、金曜日の利用が多いようだが、何か理由があるのか。</li> <li>・9ページの表4-5において、8便の「20歳未満」の利用が多いようであるが、ここでの「20歳未満」とは具体的にどのような人なのか。</li> </ul> <p>以上の点について、把握していれば回答をいただきたい。</p>
事務局	<p>1点目については、現在、詳細には把握していないが1年前に調べた際には、運行時間に対して1人利用が65%、2人利用が28%、3人利用が5%、4人利用が2%となった。B委員のおっしゃるとおり、運賃収入を高めるためには、乗り合い率を高めることが必要であると考えている。</p> <p>その一方、本市は24.92平方キロメートルと比較的コンパクトな市域であることと、地勢的に平坦で市の中心部に主要な目的地があるという条件が重なり、近距離の移動が多くなっている。こうしたことから、1人利用であったとしても、同じ時間帯に乗りあった場合と同様の人数の利用があれば、その効果は同じとなる。</p> <p>こうしたことから、今後も実際の利用データを注視しながら、効果的に利用者を増やす策を考えていきたい。</p> <p>2点目については、平成28年度にアンケートを実施したところ、高校生・大学生として特別にそうした要望が寄せられたということはない。ただし、駅・バス停から離れた地域の住民からは、通勤・通学の足の確保が要望されている。そうした中で、のりあい交通については、公共交通機関としてタクシー・路線バスと一体として機能するよう考えていきたい。</p>

	<p>3点目については、件数は把握していないが、昨年度にデータを分析したところ、予約の成立率はおおよそ90%となっている。先日の会議で、インターネット予約を取り入れる方向で合意しているので、現状の対応としては十分であると考えている。</p> <p>4点目については、火、水、金曜日に利用が多いというよりも、月、木曜日に利用が少なくなっていると考えている。のりあい交通では、当日予約及び1日前予約で利用している人が多い。月曜日は前日が日曜日で予約センターが休みのため、1日前に予約できないことから利用が少なくなっていると考えている。月曜日については、インターネット予約を導入することで、利用者増につながると考えている。</p> <p>また、木曜日については、医療機関が休みの所が多いので、利用が少ないと考えている。</p> <p>5点目については、データを見たところ、保育所の迎えと小学生の通学や塾への利用であった。6・7・8便については、利用者が少なくなっているため、こうした層に利用を呼びかけ、需要を喚起していきたい。</p>
C委員	<p>7、8ページを見ると、4、5便の間の昼休み時間に需要があるようだが、何か対策は考えているのか。</p>
事務局	<p>前回の会議において、新年度から昼休み時間の運行を実施することを合意していただいている。ドライバーのローテーションなどを運行事業者と協議して効率よく運行していきたい。</p>
D委員	<p>1人乗車の時間が多いのが課題ではないか。乗り合いを促していく必要があると思うが、どのように考えているのか。</p>
事務局	<p>乗り合って利用していただくことが、効率的であるのは間違いない。事務局としては、地域の皆さんと直接話し合うことで、制度をよく理解していただくことや、乗り合って利用できる場所を定めることなどができるので、出前講座などの機会をいただきたいと考えている。</p>

秋葉会長	他に質問がなければ、次の会議事項に移りたい。
事務局	<p><b>(2) 地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価（案）について</b> 事務局から資料2に基づき、事業評価についての説明が行われた。</p>
秋葉会長	本事項について、御意見・質問等があればお願いしたい。
B委員	来年度では、新たな運行内容となるが、4月までに周知を図っていくということによろしいか。
事務局	あらゆる方法で周知を図っていきたい。
秋葉会長	他に質問・意見はあるか。なければ、本日の出席者としては、事務局案に賛同をいただいたということによろしいか。
出席委員	異議なし。
秋葉会長	それでは、出席者としては承認とし、欠席委員には書面にて意見を求めることとしたい。
事務局	<p><b>(3) 地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価（案）について</b> 事務局から資料3に基づき、主要施設（目的地）の追加についての説明が行われた。その要旨は、これまでに指定した施設と同種の施設が新たにできたため追加するというものである。</p>
秋葉会長	<p>本事項について、何か意見・質問はあるか。 ないようなので、(2)と同様に出席委員の皆様は賛同していただいたということによろしいか。</p>
出席委員	異議なし。

秋葉会長	<p>それでは、出席者としては承認とし、欠席委員には書面にて意見を求めることとしたい。</p>
事務局	<p><b>4 閉会</b></p> <p>高澤市民生活部長が閉会を宣した。</p> <p style="text-align: center;"><b>～欠席委員に係る会議書面開催について～</b></p> <p>会議終了後、途中退席した委員と欠席委員に対して書面会議の形式で、本日の会議事項に対する意向を確認したところ、10名の委員から回答があり、いずれも原案のとおり承認することとなった。</p> <p>このため、出席委員と欠席委員で原案のとおり承認する意向を表明した委員数が18名となったため、会議事項(2)については原案のとおり申請することとし、会議事項(3)については原案のとおり目的地を追加することとなった。</p>